

平成27年度第1回宇都宮市視聴覚ライブラリー運営委員会会議録

1 日 時 平成27年8月27日(木) 午後2時～午後3時30分

2 場 所 宇都宮市立東図書館集会室

3 出席者

〔委員〕 山崎英明委員, 野口京子委員, 田中芳浩委員, 宇梶清紀委員
山口康夫委員, 徳原省市委員, 小林充佳委員, 川島芳昭委員
(欠席2名: 宇賀神貴委員, 薄井孝夫委員)

〔事務局〕 視聴覚ライブラリー小松所長ほか2名

4 公開・非公開の別 公開

5 傍聴者 なし

6 議 事

(1) 委員長・副委員長選出

- ・委員の互選により, 小林充佳委員を委員長に選出
- ・委員の互選により, 川島芳昭委員を副委員長に選出

(2) 報告事項

- ア 平成26年度視聴覚ライブラリー利用状況について
- イ 平成26年度視聴覚ライブラリー事業実績について
- ウ 平成26年度視聴覚ライブラリー決算について
- エ 平成27年度視聴覚ライブラリー運営目標について
- オ 平成27年度視聴覚ライブラリー事業計画について
- カ 平成27年度視聴覚ライブラリー予算について

7 発言の要旨

委員長 : (1) 報告事項 ア・イ「平成26年度視聴覚ライブラリー利用状況及び事業計画について」とウ「平成26年度視聴覚ライブラリー予算について」は, 事務局から, 一括して説明をお願いいたします。

事務局 : 資料1・2・3に基づき一括して報告

委員長 : ただいま, 事務局から説明がありました, この件について何かご質問・ご意見はありますか。

川島委員 : 視聴覚機材の貸出点数において, 平成25年度中学校が減少していますが, 平成26年度は, 例年の貸出点数に戻っています。幼稚園においては, 逆に平成25年度は増えており, 平成26年度は減少していますが, 何かあったのでしょうか。また, 利用促進を図るため何か取組んだのでしょうか。

事務局 : 各中学校からの借用依頼ということもあり, 減少となった理由については明確な要因はわかりませんが, 教育情報システムに視聴覚機材の貸出などについて掲示し周知したことで平成26は例年並みに貸出点数が戻ったと思われる。

山崎委員 : 幼稚園についても, 平成25年度の貸出点数が増加し, 平成26年度に減少しているのは, 何かあったのでしょうか。また, 利用している幼稚園が固定しているのでしょうか。

事務局 : 貸出点数の増減の要因についても中学校同様にはっきりしていませんが, 毎年, 同じような幼稚園等の事業に対して, 貸出をしている傾向にはあります。

野口委員 : 視聴覚機材の貸出点数は, 少しずつ減少しているのは, 確かなところでは

ありますが、この点数について、どのように捉え運営目標に反映されているのですか。

事務局：学校等の利用団体の実情もあるところではありますが、前年度を上回る貸出点数を目標としたいと考えております。

野口委員：今年度から学校巡回図書サービスが実施されていますが、利用状況はいかがですか。

事務局：小学校の先生から電話での取扱いはもとより、直接来館いただきましても、学校巡回図書サービスでの返却ということで利用いただいています。

田中委員：平成23年度の貸出点数が高いようですが、何か対策をされたのでしょうか。

事務局：平成22年度にプロジェクター等の視聴覚機材を新たな物に更新いたしました。そのことが翌年度の貸出点数の増加につながったのではないかと思います。

川島委員：広報の仕方ですが、視聴覚ライブラリーホームページのほかにもどのようなことをされているのですか。また、どのくらいの教員が視聴覚ライブラリーを知っているのですか。

事務局：広報紙に掲載している内容については、市のホームページに掲載しています。また、学校へは教育情報システムの掲示板でお知らせしています。そのほか、「AVLうつのみや」を学校ほか、幼稚園、保育園等の社会教育施設に郵送していますが、それでも視聴覚ライブラリーをご存知ない先生もおられるのではないかと考えています。

川島委員：教育センターに依頼して、先生個人あてにメールを配信することはできないのでしょうか。

事務局：メールでは、教職員各人ではなく、学校単位で通知するルールになっています。

野口委員：教育システムにおける利用については、一定のルールがありますので、教員個人へは無理ですが、教育情報システムを開いた時に目に入るお知らせに掲載した方が有効であると思います。

事務局：委員ご提案のとおり、今年度教育情報システムに新着教材について掲示し、視聴覚ライブラリーにリンクするようにしたところです。

委員長：他にないようですので、次にエ・オ「平成27年度視聴覚ライブラリー運営目標及び事業計画について」とカ「平成27年度視聴覚ライブラリー予算について」事務局から、一括して説明をお願いします。

事務局：資料4・5・6に基づき一括して報告

委員長：ただいま、事務局から説明がありましたが、この件について何かご質問・ご意見はありますか。

宇梶委員：デジタルカメラの操作方法の講習会は行わないのでしょうか。

事務局：「宇都宮を写す会」というボランティアの皆さんが、毎月1回例会を行っており、その際にデジタルビデオカメラの操作方法の講習会を開催する旨を視聴覚ライブラリーのホームページでお知らせしていますが、申込がない状況であります。

宇梶委員：ビデオカメラで撮影したデータをたくさん保存していても、DVDへ変換することが困難な方が多いと思いますので、ニーズはあるのではないのでしょうか。講習会を開催することで視聴覚ライブラリーの教材制作室の利用が促進されるのではないのでしょうか。

- 事務局：さまざまな機種がある中で、視聴覚ライブラリーのパソコン室で講習会を開催しても、ご家庭等のパソコンで編集できないということも想定されます。今後、パソコン研修の在り方の中で検討してまいりたいと思います。
- 野口委員：運営目標を掲げるに際して、どのようにニーズを把握されて目標を掲げているのかお聞きかせください。
- 事務局：機材・教材を貸し出す際に、「機材・教材利用状況報告書」を渡し、返却の際に提出していただいています。その中で気づいた点や要望などをうかがいながら、運営目標に盛り込んでおります。
- 野口委員：今年度新規、拡充していただいたところは、非常にありがたいところですが、そのほかは、前年度踏襲という内容になっています。利用団体が視聴覚ライブラリーに何を求めているかがわかってくると次年度の運営目標に反映できると思いますので、引き続きニーズの把握に努めていただきたい。
- 田中委員：地域映像の撮影・編集については、どのようにされているのですか。
- 事務局：「宇都宮を写す会」に撮影を依頼し、編集し貸出用教材としてDVD目録に掲載し教材として利用していただいています。
- 田中委員：撮影する内容の選択はどのようにしているのでしょうか。
- 事務局：視聴覚ライブラリーで選択するというよりは、各課の事業として撮影協力の依頼を受け、編集をして映像を保存しているという状況です。
- 田中委員：市民が撮影した映像を収集・編集し、宇都宮市を全国にアピールするような作品を制作するのも良いのではないのでしょうか。
- 事務局：地域映像の収集の中で必要なことと受け止めております。他の部局との調整もあると思いますが、検討していきたいと思います。
- 徳原委員：昨年度から高齢者施設においては、地域貢献事業を行うようになったが、放送設備がないという話を聞きます。また、留守家庭児童会においては、対象が6年生までになりましたことから、これまで以上に周知をすれば、利用促進につながるのではないのでしょうか。
- 事務局：「AVL うつのみや」を老人施設へ送付していますが、さらに、周知・広報を図ることを検討いたします。また、留守家庭児童会についても所管課と連携しつつ、周知を図る手法を検討してまいります。
- 山崎委員：幼稚園連合会の会議において、「AVL うつのみや」が各園に届いていることや視聴覚ライブラリーで機材が借りられることを伝えています。実際に幼稚園等において視聴覚機材を利用している事例を「AVL うつのみや」で紹介すれば、さらに利用促進につながるのではないのでしょうか。
- 事務局：視聴覚機材を利用されている団体の了解を得ながら、活用事例をご紹介できるよう検討してまいります。
- 委員長：他にご質問がなければ、次の「(3) 委員提案事項」に移らせていただきます。委員の皆様から視聴覚ライブラリーの事業や運営等につきまして、どのような事でも結構ですので、ご意見、ご提案などがありましたら、お願いいたします。
- 川島委員：施設の利用方法を知らない団体への周知、発掘するという観点から、一般家庭で撮影したビデオを教材制作室で編集することは、できないのでしょうか。
- 事務局：学校や社会教育団体等が団体事業の映像編集のために、教材制作室をご利用いただいています。

山崎委員：団体としての利用ということであれば、幼稚園連合会に属している幼稚園の保護者が利用したり、パソコン講習会を受講することは、できるのでしょうか。また、幼稚園の保護者へのパソコン研修を要望した場合の対応はできるのでしょうか。さらに、デジタルカメラやビデオカメラの撮影の方法・編集について、ニーズがあると思いますが、講習会を開催するのは難しいのでしょうか。

事務局：団体からの申込みであれば、利用は可能です。また、講習会については、各社会教育施設長様あてに通知しておりますので、施設の職員であるという認識で受講申込みに応じています。団体からのパソコン研修の要望があった場合は、検討させていただきたい。

「宇都宮を写す会」のボランティアの方が、毎月例会を行っています。その会において、ビデオ撮影の講習会を行っていますので、どのような形で周知・募集できるか検討してまいります。

委員長：次の5「その他」に移らせていただきます。委員の皆様、お一人ずつ何かありましたらお願いいたします。

川島委員：利用頻度を上げるための事業と合わせて、著作権教育を行っていただきたい。

徳原委員：改めて、16ミリフィルムを積極的に活用していきたいと感じました。

山口委員：地域の子どもの家の事業で月一回16ミリフィルムの映画会をボランティアの会の会員の方にお世話になっています。また、子ども会・育成会においても機材・教材の利用件数が増えています。コミュニティーセンターの事業においても、利用していますので、今後もPRしていきたいと思います。

宇梶委員：県立高校の場合、アドレスが公開されていますので、メールで情報をいただければ、周知・広報が図れると思います。

田中委員：視聴覚ライブラリーには良い教材がたくさんあると思いますが、学校では選んでいる時間がないのが実態です。どのようにしたら簡単に選べ、借りることができるのかその方法についてご検討いただきたい。

野口委員：今年度からの学校巡回図書サービスの実施など新規事業や拡充ということで、学校と視聴覚ライブラリーの距離が縮まったと感じています。

委員長：ただ今、委員の皆様からご提言等につきましては、事務局でご検討をお願いいたします。事務局から何かございますか。

事務局：次回の会議開催の日程について、お諮りいたします。当運営委員会は、先程の「事業計画」でご説明いたしましたとおり、通常、年2回開催されております。次回の会議につきましては、2月の開催を考えております。具体的な日程につきましては、委員長と協議の上、決定したいと考えておりますので、よろしく申し上げます。

委員長：ただいま、事務局から、次回の会議の開催日程について、説明がありました。具体的な期日については、あらためて、私と事務局で調整することとして、開催は、2月ということで、よろしいでしょうか。

各委員：異議なし。

委員長：特に無いようですので、以上をもちまして、平成27年度第1回視聴覚ライブラリー運営委員会を閉会いたします。